歴史 22　中1 社会　穴埋め

日明貿易と東アジアの交流

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

縄文　弥生　古墳　飛鳥　奈良　平安　鎌倉　**室町**　安土桃山

今日の問い

室町時代の日本は、明や朝鮮、琉球・蝦夷地とどのように交流したのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 日明貿易と朝鮮との交流

東アジアとの交流

4 勘合を用いて行われた、日本と明との貿易。勘合貿易ともいう。

3 正式な貿易船と倭寇を区別するために用いた証明書。

5 1392年に高麗をほろぼし、朝鮮を建国した人物。

14世紀後半、中国で ＿＿＿＿ [1] が建国され、元を北へ追いやった。そのころ中国や朝鮮半島の沿岸では、＿＿＿＿ [2] とよばれる海賊が船や村をおそっていた。明は倭寇の取りしまりを日本に求め、足利義満はこれに応じて、明の皇帝に貢ぎ物をおくる朝貢の形で貿易を始めた。

正式な貿易船と倭寇を区別するため ＿＿＿＿ [3] という証明書を用いたので、この貿易を ＿＿＿＿ [4] (勘合貿易)という。日明貿易は義満の死後に一時とだえたが、のちに再開され、やがて実権は有力な守護大名と、堺や博多の商人に移っていった。

朝鮮半島では1392年、＿＿＿＿ [5] が高麗をほろぼして ＿＿＿＿ [6] を建国した。朝鮮では15世紀中ごろに、独自の文字である ＿＿＿＿ [7] がつくられた。日本は朝鮮とも貿易を行い、＿＿＿＿ [8] などを輸入した。

貿易	日本から	日本へ
＿＿＿＿ [4]	銅・硫黄・刀剣など	銅銭・生糸・陶磁器など
日朝貿易	銅・硫黄など	＿＿＿＿ [8] ・仏教の経典など

2 琉球王国とアイヌ民族との交流

南と北の交流

10 1429年に尚氏が沖縄島を統一して建てた王国。都は首里。

12 各地の産物を仕入れ、別の国へ取り次いで利益を得る貿易。

13 蝦夷地(北海道)などに住み、独自の言葉や文化をもつ人々。

沖縄島では三つの勢力が争っていたが、1429年に中山の王の ＿＿＿＿ [9] がこれを統一して ＿＿＿＿ [10] を建てた。琉球王国は都の ＿＿＿＿ [11] を中心に、明・日本・朝鮮・東南アジアの国々と船で行き来し、ある国の産物を仕入れて別の国へ売る ＿＿＿＿ [12] で栄えた。

蝦夷地(えぞち)(北海道)には ＿＿＿＿ [13] が住み、狩りや漁、交易をして暮らしていた。アイヌの人々がとった鮭や昆布などは、津軽(青森県)の十三湊(とさみなと)などを経て京都にも運ばれた。15世紀に和人(本州の人々)が蝦夷地の南部(渡島半島)に進出し、不公平な取り引きも増えると、1457年、首長の ＿＿＿＿ [14] を中心にアイヌの人々が立ち上がった(＿＿＿＿ [15])。

できた ＿＿＿＿ / 15

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。